JA静岡経済連

経済連情報 6

安全・安心・新鮮でおいしい
静岡県産の農畜産物をお届けします。

2024. 6
NO.1317

県内JA-SSの利用拡大へ向けた魅力向上の取組について



▲副知事へ新茶を贈呈する河原崎会長



▲カーネーションを手渡す山田部会長

Main topics

県内JA-SSの利用拡大へ向けた
魅力向上の取組について ……01

topics&news

JA静岡茶産地プロモーション
「揉一ひとえつゆひかりブレンド」の交通広告を掲出……03

県産農産物をPR
名古屋市中央卸売市場で試食宣伝会を開催 …03

静岡新茶をPR
副知事へ新茶を贈呈 ……04

セルリー周年安定供給へ
静岡県・長野県セルリー生産販売推進会議を開催 …04

乾椎茸産業の発展を目指す
第43回静岡県乾椎茸箱物品評会 ……05

「母の日」静岡県産花き消費宣伝
園児へカーネーションをプレゼント ……05

卓球少年・少女を食で応援
全農杯全日本卓球選手権大会 静岡県予選会へ協賛 …06

新任JA営農経済職員が知識技能を習得
営農経済事業初任者研修会を開催 ……06

最新研究紹介

年内収量を増加させる「きらぴ香」の超促成栽培……07

お知らせ

テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」のご紹介 …09
農業機械課からのお知らせ ……09
職員紹介……10

main topics
メイントピックス

県内JA-SSの利用拡大へ向けた魅力向上の取組について

Ⅰ はじめに

本会は「JA静岡経済連2か年計画」の基本目標として「新時代に対応した総合事業改革」を掲げ、地域・組合員の暮らしを支えるための事業提案に取り組んでいます。

今回のメイントピックスでは、組合員の営農活動やくらしを支える総合エネルギー課の事業の中で、JA-SS（サービスステーション）の利用拡大に向けた魅力向上の取組について詳しくご紹介します。

Ⅱ 本会エネルギー事業について

1. 事業概要

県内のJA燃料事業を担当する本会のくらし支援部総合エネルギー課では、農家、組合員や地域住民の生活利便性向上のため、ガソリンや灯油、LPガス（クミアイプロパン）などの家庭用燃料を、県内JA-SSやJA-LPガスセンターを通じて供給しています。また、平成8年より本会に石油受注センターを構え、茶用等の重油の受注・供給体制の確立や、県内JA-SSからの受注・配送調整を行っています。

2. JA-SSについて

JA-SSのガソリンスタンドは現在、県内に44カ所展開しています。また、多様化するニーズに応え、28か所のセルフSSを展開しています。



▲JASS－PORT南伊豆

Ⅲ 利用拡大に向けた取組

1. キャッシュレス決済の導入

県内JA-SSでは、キャッシュレス決済の急速な普及と利用者の増加に伴い、「PayPay」、「auPAY」、「d払い」等の二次元バーコードを利用したキャッシュレス決済の積極的な導入を進めています。令和5年度は、JA全農が主催する「PayPay」や「auPAY」などのクーポンキャンペーンに加え、本県独自の取組として、県内33カ所のスタンドにて9月と2月の2回クーポンキャンペーンを実施し、期間中にアプリ内の該当ページからクーポンを獲得した利用者に、ポイント付与を行いました。

2. LINEアカウントの活用

県内JA-SSでは、LINEアカウントを活用した販促活動に取り組んでいます。各店舗の公式LINEアカウントを友だち登録した利用者に対し、登録特典や割引クーポン、キャンペーン告知などの配信を行い、



▲実施キャンペーンポスター（現在キャンペーンは終了しています）

利用者の新規獲得を目指します。現在、県内15か所のJA-SSで導入しています。

LINEを利用した販促は、キャッシュレス決済との親和性が高いことや消費者の傾向分析が可能であること、販促費用対効果が得やすいといったメリットがあり、JA-SS各店舗で活用されています。

また、総合エネルギー課は、担当者の知識向上に向け、JA-SSの従業員や担当職員を対象とした研修会などを開催し、担当者の提案力やサービス向上に取り組んでいます。

キャッシュレス決済やLINEアカウントを活用した販促広報活動により、幅広い世代（地域全体）の利用を促し、燃料油のシェアアップを目指します。



▲LINEを活用した販促

Ⅳ おわりに

今回のメイントピックスでは、県内JA-SSの利用拡大に向けた魅力向上の取組について紹介しました。

近年の石油価格の上昇や世界的なカーボンニュートラルの加速化、再生可能エネルギーへの転換など、燃料事業を取り巻く情勢は日々変化しています。総合エネルギー課では、農家、組合員への最適なエネルギー事業の提案や安定したエネルギー供給ができるよう取り組んでまいります。県内JA-SS各店舗においても、地域一番店を目指し、組合員ニーズに対応したサービス展開を図ってまいりますので、積極的なご利用をお願いします。

問い合わせ先
●くらし支援部
総合エネルギー課（石油）
電話：054-284-9529

県内JA-SS一覧

NO	形　態	ＳＳ名	住　所
1	セルフ	JASS-PORT 南伊豆	賀茂郡南伊豆町青市1026-1
2	セルフ	JASS-PORT しもだ	下田市東中8-7
3	セルフ	JASS-PORT いとう	伊東市宮川町1-39-8
4	セルフ	JASS-PORT 修善寺	伊豆市柏久保119
5	セルフ	JASS-PORT 韮山	伊豆の国市韮山山木4-15
6	セルフ	JASS-PORT 熱函	田方郡函南町大土肥85-1
7	フ　ル	函南町給油所	田方郡函南町丹那367-4
8	フ　ル	錦田サービスステーション	三島市谷田233-24
9	セルフ	JASS-PORT 北上	三島市幸原町1-13-19
10	セルフ	JASS-PORT いずみ	裾野市佐野751-1
11	フ　ル	原里給油所	御殿場市川島田1416-1
12	フ　ル	足柄給油所	駿東郡小山町竹之下247-1
13	セルフ	中央給油所	御殿場市ぐみ沢5
14	セルフ	北郷給油所	駿東郡小山町一色267-1
15	セルフ	JASS-PORT 蒲原	静岡市清水区蒲原新栄89
16	フ　ル	しみずサービスステーション	静岡市清水区庵原町118-4
17	フ　ル	駒越サービスステーション	静岡市清水区駒越中1-15-1
18	セルフ	JASS-PORT 高部	静岡市清水区押切984-1
19	フ　ル	大富給油所	焼津市中新田3-1
20	フ　ル	静浜給油所	焼津市宗高3
21	フ　ル	藤枝給油所	藤枝市青木3-12-7
22	フ　ル	島田北給油所	島田市神座2576-3

NO	形　態	ＳＳ名	住　所
23	フ　ル	川島給油所	島田市身成161
24	フ　ル	吉田給油所	榛原郡吉田町片岡2153
25	セルフ	ハイナンステーション(榛原)	牧之原市細江1986-1
26	フ　ル	中央給油所	牧之原市静波73-5
27	セルフ	JASS-PORT おがさ	菊川市下平川6265
28	フ　ル	大東サービスステーション	掛川市大坂1401-1
29	セルフ	JASS-PORT さづか	掛川市小貫1516
30	セルフ	JASS-PORT 西郷	掛川市上西郷537
31	セルフ	セルフ浅羽ステーション	袋井市浅岡239-1
32	セルフ	JASS-PORT 袋井	袋井市堀越461
33	セルフ	セルフ福田ステーション	磐田市福田2669
34	フ　ル	磐田ステーション	磐田市岩井1759-1
35	セルフ	セルフ一宮ステーション	周智郡森町一宮1261-1
36	フ　ル	磐田南ステーション	磐田市前野2769-1
37	セルフ	芳川サービスステーション	浜松市中央区下江町320
38	セルフ	都田サービスステーション	浜松市浜名区都田町6574-1
39	セルフ	志都呂サービスステーション	浜松市中央区志都呂2-41-36
40	セルフ	細江サービスステーション	浜松市中央区細江町中川6437-2
41	セルフ	いなさサービスステーション	浜松市浜名区引佐町井伊谷2073
42	セルフ	庄内サービスステーション	浜松市中央区舘山寺町3300-5
43	セルフ	都筑給油所	浜松市浜名区三ヶ日町都筑2458-1
44	セルフ	三ヶ日給油所	浜松市浜名区三ヶ日町三ヶ日884-1

JA静岡茶産地プロモーション
「揉一ひとえつゆひかりブレンド」の交通広告を掲出

静岡県経済連茶業委員会（事務局：茶業部）は4月29日～5月31日の期間、JA静岡茶の消費拡大のため、新茶期に合わせた産地プロモーションを実施し、県下統一の新商品「揉一ひとえ つゆひかりブレンド」の交通広告を掲出しました。

静岡駅や浜松駅など県内のJR主要駅と静岡鉄道の新静岡駅では、駅構内に期間限定でポスターを掲出。伊豆箱根鉄道と遠州鉄道では一部車両で車内広告を掲出し、ポスタージャックを実施しました。



▲伊豆箱根鉄道の車内広告

産地プロモーションは、新茶期（4月下旬～5月末）、冷茶期（6月下旬～7月末）、ホット期（10月下旬～11月末）の3期に分けて展開を計画。シーズンに合わせたCMやウェブ広告の配信などを通じて県内茶産地をPRします。





▲JR駅構内に掲出されたポスター▲

県産農産物をPR
名古屋市中央卸売市場で試食宣伝会を開催

名古屋事務所は4月15日、愛知県名古屋市の名古屋市中央卸売市場本場でJA静岡市産の「久能葉しょうが」とJAとぴあ浜松産のエシャレットの試食宣伝会を実施しました。

同市場内での試食宣伝会の開催は昨年に続き2年連続。試食は、天ぷらと味噌マヨネーズを付けて食べる方法の2種類を提供し、集まった市場関係者からは好評を得ました。様々な食べ方の提案で出荷最盛期を前に旬の県産農産物を実需者へPRし、県外市場での取扱拡大を目指します。



同事務所は今後も中京圏の量販店を中心に静岡県産フェアなどを計画し、県産農産物をアピールします。





静岡新茶をPR

副知事へ新茶を贈呈

静岡県茶業会議所は5月10日、静岡市葵区の静岡県庁で増井浩二副知事に令和6年産の県産新茶を贈呈しました。贈呈式には静岡県茶商工業協同組合の長瀬隆理事長、本会の河原﨑友二経営管理委員会会長、県内16の茶産地の茶娘とPRアンバサダーらが参加しました。

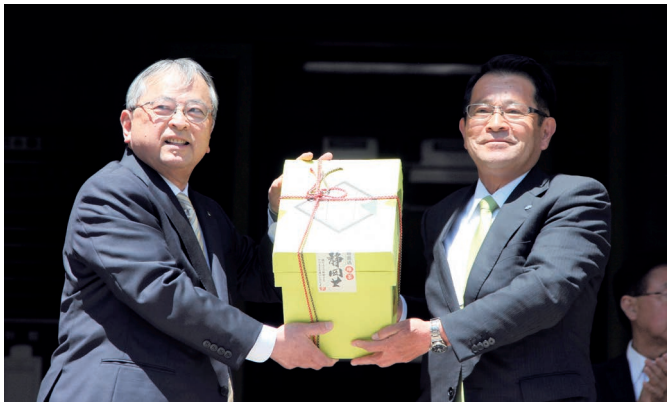


▲前列左より河原﨑会長、増井副知事、長瀬理事長と県内16茶産地の代表者

生産者を代表し新茶を贈呈した河原﨑会長は「生産資材の高騰など難しい栽培環境の中、生産者の努力で良質なお茶ができた。美味しい静岡茶をぜひ飲んでほしい」と話し、増井副知事は「静岡のお茶を行政、茶業者一体となってPRし、消費拡大につなげていく」と応えました。







▲増井副知事知事（左）に新茶を贈呈する河原﨑会長

県内16茶産地

沼津	富士	清水	静岡	藤枝	御前崎	島田	旧金谷町
川根本町	牧之原	掛川	菊川	袋井	磐田	森町	浜松



セルリー周年安定供給へ

静岡県・長野県セルリー生産販売推進会議を開催

浜松洋菜協議会・浜松洋菜共販運営委員会（事務局：西部みかん園芸課）は4月22日、浜松市中央区で「静岡県・長野県セルリー生産販売推進会議」を開催し、JAとぴあ浜松、JA松本ハイランド、JA信州諏訪などの生産者と職員ら28名が参加しました。

同会議は、セルリーの周年安定供給と消費拡大を目的に、静岡県・長野県それぞれの生育状況と出荷見通しを報告。出荷リレーに関する検討と意見交換を行いました。

浜松洋菜セルリー共販幹事会の内山英樹幹事長は「夏場の猛暑や暖冬などから非常に難しい栽培環境となった。年間を通じて安定生産、安定供給による消費拡大と価格の底上げを目指し、各産地と協力して取り組みたい。」と話しました。



▲挨拶する内山幹事長

乾椎茸産業の発展を目指す
第43回静岡県乾椎茸箱物品評会

野菜花卉課は4月16日、伊豆市のJAふじ伊豆修善寺営農経済センターで、「第43回静岡県乾椎茸箱物品評会」を開きました。

生産技術の向上と生産意欲の高揚および系統共販を推進する椎茸産業の健全な発展に寄与することが目的で、最高位の林野庁長官賞・一般財団日本きのこセンター理事長賞は、JAふじ伊豆の桑名二朗さんが受賞しました。



▲最高位の金1席を獲得した桑名さんの椎茸


▲審査のようす

品評会には、JAふじ伊豆（伊豆の国）から昨年を上回る993点が出品され、量目不足や乾燥不良などの第一次審査、形状や色、光沢などの第二次審査を経て、審査員協議のうえ各賞を決定しました。

上位入賞者は次のとおり（敬称略、カッコ内は銘柄）。

金1席
林野庁長官賞・一般財団
日本きのこセンター理事長賞
桑名　二朗（中葉中肉）

金2席
静岡県知事賞・森産業株式会社社長賞
小柳出　勝（上冬菇）

金3席
全国農業協同組合連合会
経営管理委員会長賞
石井　猛（大葉中肉）

金4席
日本椎茸農業協同組合連合会長賞
桑名　二朗（中葉厚肉）

金5席
静岡県椎茸産業振興協議会長賞
星谷　彦衛（上冬菇）

金6席
富士伊豆農業協同組合長賞
小柳出　勝（大葉厚肉）

「母の日」静岡県産花き消費宣伝
園児へカーネーションをプレゼント

静岡県花卉園芸組合連合会カーネーション部会（事務局：野菜花卉課）は5月10日、東伊豆町の町立ひがしいず幼稚園の園児ら21人に、カーネーションの花束をプレゼントしました。

取り組みは消費宣伝活動の一環として、母の日を前に栽培が盛んな同町周辺の園児らを対象に同部会が例年行っているもので、今回は家庭でカーネーションを飾って楽しんでもらおうと花束と併せて花瓶をプレゼントしました。花瓶には園児らが母親への感謝を伝えようと、似顔絵を書き込みました。

贈呈式では、同部会の関係者ら5人が園児に一人ずつ花束を手渡しました。受け取った園児はお礼の歌を披露し、部会員と交流を深めました。

同部会の山田弘志部会長は「園児には花瓶に入れて大切に世話をしてもらい、カーネーションを楽しんでほしい。プレゼントが家で花を飾るきっかけになればうれしい」と話しました。


▲カーネーションを手渡す山田部会長


▲園児が似顔絵を書き込んだ花瓶



卓球少年・少女を食で応援

全農杯全日本卓球選手権大会 静岡県予選会へ協賛

本会は5月6日、静岡市駿河区のこのはなアリーナで開催された「全農杯2024年全日本卓球選手権大会（ホープス・カブ・バンビの部）静岡県予選会」に協賛しました。

当日は、小学生の卓球日本一を競う同大会の全国大会出場を懸け、県内から卓球少年・少女約150人が熱戦を繰り広げました。

本会からは、副賞・参加賞として「静岡県産こしひかり『静岡そだち』」を提供しました。表彰式では、食糧部の長橋隆史部長が上位入賞者へ副賞を贈呈し、白熱した試合を繰り広げた選手たちをたたえました。

上位入賞者は7月26日～28日に兵庫県神戸市須磨区のグリーンアリーナ神戸で行われる全国大会に出場します。



▲表彰を受けるホープス男子の部の入賞者



副賞・参加賞		
賞	内　容	対象
優　勝	静岡そだちこしひかり 5kg×3袋	6人
準優勝	静岡そだちこしひかり 5kg×2袋	6人
3　位	静岡そだちこしひかり 5kg×1袋	12人
参加賞	静岡そだちこしひかり メッセージライス300g	参加全選手

新任JA営農経済職員が知識技能を習得

営農経済事業初任者研修会を開催

生産振興開発課は、JA静岡中央会と共催で、営農経済部門の初任職員の研修会を菊川市の県農業研修会館などで開き、JA職員37人が参加しました。

研修会は前後期で2回実施し、第1班は5月8日と9日、第2班は5月14日と15日のそれぞれ二日間実施しました。

参加者は、JA事業や営農指導、販売・購買等に関する基礎知識などの講義を受講した他、本会大井川肥料工場では、同課の市川健コンサルタントによる農薬希釈・散布方法の実演、肥料農薬課による肥料の基礎知識の講義を受講しました。また、肥料工場や肥料倉庫、土壌肥料分析センターを視察しました。

研修会の後期日程は11月～12月にかけて実施します。







最新研究紹介

農林技術研究所だより

年内収量を増加させる「きらぴ香」の超促成栽培

一 はじめに

国産いちごは12月以降に出荷量が増加しますが、それより前の秋季は、需要に対して供給が少なく、比較的高単価で取引されています。そのため、この時期に供給量を増やすことで、生産者の収益拡大が期待されます。

そこで、静岡県では、県いちご生産量の増加及び生産者の収益拡大に向けた技術開発を目標に、令和3年度から5年度まで3ヵ年のプロジェクト研究を実施しました。その成果の一つとして、高単価の10月から収穫開始が可能で、年内収量も普通促成栽培に比べて1.5倍以上となる、超促成栽培技術を開発しましたので報告いたします。

なお、開発した超促成栽培では、早生性や花房の連続出蕾性などに優れた特性を持つ県オリジナル品種「きらぴ香」を用いました。

二 超促成栽培の開発

超促成栽培では、これまでも苗の夜冷短日処理により10月から収穫開始することは可能でした。しかし、本圃で高温に遭遇するため第一次腋花房（2番花房）の分化が遅れて中休みが長くなり、必ずしも収益性が上がるわけではないことが課題でした。

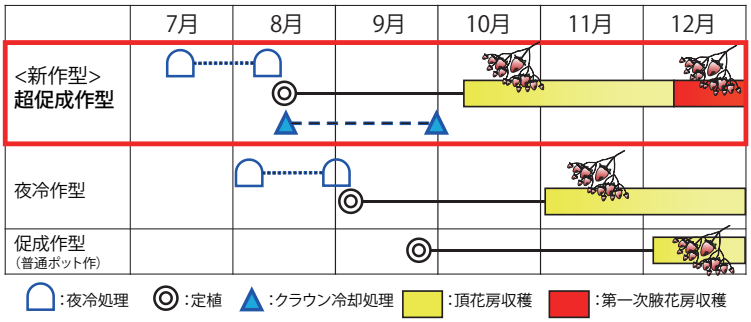


図１　開発した超促成栽培作型

そこで、県内生産者の先駆事例を参考にして、苗の夜冷短日処理と本圃でのクラウン冷却処理を組み合わせることで、単価の高い10月から頂花房の収穫を開始するとともに、需要期である12月から2番花房の収穫を開始できる作型を開発しました（図1）。

三 夜冷処理時期

まず、10月から収穫ができる夜冷短日処理時期について検討しました。処理開始時期を、7月上旬、7月中旬、7月下旬と変えた3試験区を調べたところ、いずれも花芽分化に要した処理期間は約1カ月間でした。また、花芽分化後に定植したところ、それぞれ10月上旬、10月中旬、10月下旬から収穫が始まりました（図2）。このことから、7月中に夜冷短日処理を始めることで、10月から収穫可能となることがわかりました。ただし、高温等の影響で開始時期が早いほど頂花房トップ果から3果までの不受精果や著しい奇形果が多く発生しました。そのため、10月からの収穫開始を目指す場合、夜冷処理開始は、7月中旬頃がよいと考えられました。なお、夜冷短日処理条件は、気温15℃で16時間暗黒条件で行いました。



図２　超促成栽培の様子(10月上旬)

私が紹介します！



静岡県農林技術研究所
野菜生産技術科
上席研究員
望月　達史

四 クラウン冷却処理

次に、中休みの短縮を目標に、本圃におけるクラウン冷却処理の効果を調べました。

クラウン冷却処理とは、ヒートポンプチラーで温度調節した冷水や地下水を利用し、イチゴの生長点（クラウン）付近を局所的に温度制御することで、比較的低コストで、生育や花芽分化等を制御することが可能な技術です。

試験では、8月中旬の定植日から10月上旬まで、クラウン部に接するよう設置したPEチューブ内にチラーにて16℃前後に冷却した水を終日流して処理しました（図3）。

クラウン冷却処理により、頂花房の不受精果等の発生率が低下するとともに、2番花房の収穫開始が無処理に比べて10日程早くなりました。

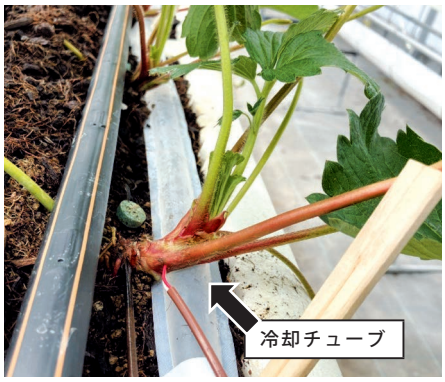


図3　クラウン冷却処理の様子

これは、当所の普通促成作型（ポット育苗、自然条件下分化後定植）の頂花房収穫開始と同程度でした（表1）。

処理区			頂花房			第一次腋花房		花房間葉数（頂花房－一次腋）
苗短日夜冷処理時期	本圃クラウン冷却有無	（定植日）	開花日	初収日	1-3果正常果[1]率	開花日	初収日	
			（月/日）	（月/日）	（%）	（月/日）	（月/日）	（枚）
7/19～8/17	クラウン冷却	8/17	9/25	10/20	97	11/9	12/13	4.4
	無処理		9/19	10/15	71	11/19	12/25	7.6
（参考）普通ポット		9/27	11/6	12/9	ー	12/1	1/16	2.7

1)不受精果及び著しい奇形果以外の可販果　　調査：1区16株3反復

表1　頂花房および第一次腋花房の開花日および初収日（令和4年度作）

その結果、比較的高単価となる年内収量は、普通促成と比べて5割以上増加しました（図4）。また、5月末までの総収量でも、普通促成と比べて1割程多くなりました（図5）。

なお、クラウン冷却処理は、葉の展開速度が若干遅くなるため、処理終了は花芽分化確認の2週間後（10月上中旬を目安）とし、あまり遅くまで冷却しないよう注意が必要です。

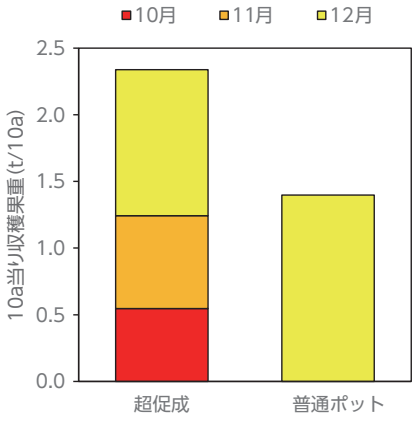


図4　年内収量（7千本/10a換算）

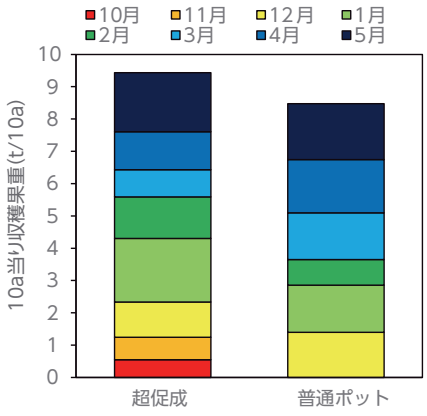


図5　総収量（7千本/10a換算）

五 今後の展開

超促成栽培では、夜冷設備やヒートポンプチラー等のクラウン冷却用設備といった設備投資が必要となりますが、その経営評価につきましては、本誌10月号の「最新研究紹介」欄にて報告させていただく予定です。なお、地下水が豊富な地域では、クラウン冷却処理に地下水を直接利用することで、設備導入コストの低減ができます。

現在、超促成栽培も含めたプロジェクト研究の成果を、マニュアルとしてまとめるとともに、今年度中に成果報告会を開催する予定です。詳細が決まりましたら、県HP等にてご案内いたしますので、ご興味のある方は、是非参加頂ければ幸いです。

なお、本研究では「きらぴ香」を用いた超促成栽培を開発しましたが、今後、「紅ほっぺ」における超促成栽培についても検証する予定です。

連絡先
磐田市富丘六七八ー一
静岡県農林技術研究所
野菜生産技術科
agriyasai@pref.shizuoka.lg.jp

テレビ番組

「しずおかごはんが食べたい！」（テレビ静岡）

担当：食糧部 食糧課（TEL:054-284-9737）

静岡県産米麦流通連絡協議会（事務局：食糧部）は、テレビ番組「しずおかごはんが食べたい!」（テレビ静岡・全１１回放送）に協賛し、県産米のＰＲを行っています。

令和６年度の第１回目（５月18日）の放送では、お笑い芸人のモグライダーが熱海市と伊豆市から「きぬむすめ」を紹介しました。「きぬむすめ」は食味・香り・粘りとも良好で、ツヤと白さが特徴。静岡県東部・西部地区産の「きぬむすめ」は令和5年産米の食味ランキングにおいて最高位の「特A」評価を獲得しています。

番組では、JAふじ伊豆営農課の齊藤勝俊さんがビデオメッセージで出演し、「きぬむすめ」の美味しさをPRしました。







農業機械課からのお知らせ

JA農業機械大展示会

日　時：令和6年7月５（金）、6日（土）
（両日とも9：00から15：00まで）
場　所：吉田公園　西側特設会場
（静岡県榛原郡吉田町川尻）
雨天決行　駐車場有／入場無料

7月5日（金）～6日（土）の2日間、吉田町の吉田公園西側特設会場で、「令和6年度JA農業機械大展示会」を開催します！

各メーカーによる農機の展示・販売の他、中古農機の抽選販売や小学生以下のお子様限定のガラガラ抽選会などイベントも実施します。ぜひお越しください！



担当：生産資材部 農業機械課（TEL：054-622-3455）

職員紹介

JAや取引先の皆様に推進などでおじゃまさせていただいている本会職員を紹介します。



みかん園芸部　営農資材課
増井（ますい）　彪成（ひょうま）

趣味・特技

趣味はスポーツです。小学校６年間バスケットボールを習っていて中学校からはずっとバレーボールをやっています。最近では同期の中村くんと一緒にバレーボールをやっています。

担当業務

出荷資材に関する業務を担当し、段ボールやパックなどの包装資材、ＩＣＴ機器の受発注と伝票処理をしています。入力ミスがないように日々確認を心がけています。

コメント

まだ分からないことが多く、毎日色々なことを教わっています。いち早く業務を覚えて立派な職員になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。



営業部　流通開発課
服部（はっとり）　佑香（ゆうか）

趣味・特技

旅行に行くことが好きです。大学生時代はコロナウイルスの影響で出かけられない期間が長くありましたが、２年間で 38 都道府県と４ヵ国に行きました。将来はさらにさまざまな場所を訪れてみたいです。

担当業務

通販サイト「JA タウン」に関する業務を担当しています。新しい商品が出品されたり実際に出荷元の方とお話しをしたりする中で静岡県の農産物の魅力を知り、その魅力を伝えたいという気持ちで業務を行っています。

コメント

静岡県の農産物は、想像していたより種類が多く、奥が深いです。あまり多くの人に知られていないけれど、実はとってもおいしくて人気なものが多くあります。そのことを発信できるよう頑張ります。

毎月1回発行　編集発行／企画　管理課 〒422-8620　静岡県経済農業協同組合連合会　静岡県静岡市駿河区曲金3丁目8番1号
TEL.054(284)9708　FAX.054(284)9780　http://jashizuoka-keizairen.net　E-mail:keizairen@kei.ja-shizuoka.or.jp



担当：生産資材部 農業機械課（TEL：054-622-3455）